

撮影：小川忠博氏
写真提供：埼玉県教育委員会

資料名　縄文土器

よみがな　じょうもんどき

時　代　縄文時代

大きさ　約30cm



出土場所（しゅつどばしょ）　桶川市（おけがわし）　前原遺跡（まえはらいせき）

解説（かいせつ）　トロフィーのような形の土器です。
特別な時に使われたようです。

（参考：埋文（まいぶん）さいたま55号）

他（ほか）の縄文土器や時代の異（こと）なる土器とは、形や模様（もよう）などどのような所が似（に）ていたり、異（こと）なったりしているのでしょうか。

桶川市以外にも縄文土器は出土しているのでしょうか？調べてみましょう。



撮影：小川忠博氏
写真提供：埼玉県教育委員会

資料名　縄文土器

よみがな　じょうもんどき

時　代　縄文時代

大きさ　高さ約30cm



出土場所　日高市　宿東遺跡

解　説　土器の表面にうず巻き模様や立体的な飾りが付いています。
料理やお祈りに使われたと考えられ、縄文人のくらしの工夫がよくわかる土器です。

（参考：埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 197 集）

他の縄文土器や時代の異なる土器とは、形や模様などどのような所が似ていたり、異なったりしているのでしょうか。

日高市以外にも縄文土器は出土しているのでしょうか？調べてみましょう。



写真提供：埼玉県教育委員会

資料名　縄文土器

よみがな　じょうもんどき

時　代　縄文時代

大きさ　高さ約40cm



出土場所　熊谷市　諏訪木遺跡

解　説　簡単に作られた、模様が少ない実用のための土器です。

（参考：埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書336集）

他の縄文土器や時代の異なる土器とは、形や模様などどのような所が似ていたり、異なったりしているのでしょうか。

熊谷市以外にも縄文土器は出土しているのでしょうか？調べてみましょう。



写真提供：埼玉県教育委員会

資料名　まが玉

よみがな　まがたま

時　代　縄文時代

大きさ　長さ約3cm



出土場所　加須市　長竹遺跡

解　説　昔の日本で作られたアクセサリーのようなものです。

素材は滑石(かっせき)というやわらかい石で作られています。

昔の人にとっては、①お守り②身分を表すもの③おしゃれといった特別な意味を持つ大切なものだと考えられています。

まが玉の形は、いくつかの説があります。

①動物の牙(きば)のまね

②赤ちゃんの形

③太陽と月を表す

④魔よけの形

（参考：埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書441集）

まが玉には素材や大きさ、色の違いはあるのかな？調べてみましょう。



撮影：小川忠博氏
写真提供：埼玉県教育委員会

資料名　土偶

よみがな　どぐう

時　代　縄文時代

大きさ　高さ約15cm　幅約10cm



出土場所　深谷市　原ヶ谷戸遺跡

解　説　ゆったりした服を着た人のような形をしています。
お腹には渦巻きの模様があり、胸やお腹のあたりに穴があいています。祈りや願いをこめて作ったと考えられています。
（参考：埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書127集）

他の土偶は、どのような形や模様をしているのか比べてみましょう。

深谷市の他にも土偶は見つかっているのかな？調べてみましょう。



撮影：小川忠博氏
写真提供：埼玉県教育委員会

資料名　耳飾り

よみがな　みみかざり

時　代　縄文時代

大きさ　平均2.5cm

出土場所　さいたま市　大木戸遺跡



解　説　　漆(うるし)と呼ばれる木の樹液が塗られています。水銀と鉄が含まれ、水銀朱(すいぎんしゅ)という赤い鉱物が使われていたと考えられます。

（参考：埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書444集）

縄文時代には、他にどのような色や形の耳飾りがあるのか調べてみましょう。

縄文時代には、耳飾りの他にアクセサリーはあるのかな？調べてみましょう。



写真提供：埼玉県教育委員会

資料名　ミミズク形土偶

よみがな　みみずくがたどぐう

時　代　縄文時代後期

大きさ　高さ約32cm



出土場所　鴻巣市　赤城遺跡

指定区分　埼玉県指定文化財

解　説　顔の形が「みみずく」に似ていることから、この名前で呼ばれています。
この土偶は、土偶の内部が空っぽで、自立することができます。
（参考：埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書74集）

他の土偶と形や表情を比べてみましょう。

鴻巣市の他にも土偶は出土しているのかな？調べてみましょう。



写真提供：埼玉県教育委員会

資料名　動物形土製品

よみがな　どうぶつがたどせいひん

時　代　縄文時代

大きさ　長さ15．5cm　幅9．5cm

出土場所（しゅつどばしょ）　蓮田市（はすだし）　久台遺跡（くがいいせき）



解説（かいせつ）　頭と足の部分は失（うしな）われています。亀（かめ）の甲羅（こうら）のように見えます。

（参考：埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書339集）

他にはどのような動物の形をした土の製品（せいひん）があるのか調べてみましょう。

下のリンクから埼玉県から出土した文化財について書かれている「埋文さいたま」へつながります。

埋文さいたま｜埼玉県埋蔵文化財調査事業団



写真提供：埼玉県教育委員会

資料名　舟形木製品

よみがな　ふながたもくせいひん

時　代　縄文時代

大きさ　長さ約50cm　高さ18cm

出土場所（しゅつどばしょ）　白岡市（しらおかし）　清左衛門遺跡（せいざえもんいせき）



解　説　　梔(カヤ)という種類（しゅるい）の木を削（けず）って作られています。
何に使われていたかはわかっておりません。
桶川市後谷遺跡（おけがわしごうやいせき）では、作りかけの皿状（さらじょう）の木で作られた容器（ようき）が出土されています。

（参考：埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書363集）

縄文時代の木製品は、他（ほか）にどのようなものがあるのでしょうか。